

総合的な学習の時間 ZEST（ゼスト） 単位数（ 1 ）

類型（ 共通 ・ 文 ・ 理 ） 履修規定（ 必修 ・ 選択 ）

年間目標	1 「社会を知る」「自己を見つめる」ために、小論文作成、汎用的能力の測定ツール利用や外部講師による解説会を実施し、現代社会に生きる人間としての問題意識を持ち、学び方やものの考え方を身に付ける。 2 施設研修、課題研究、ポスターセッションを行うことにより、現代社会や学問に対する興味・関心を高め、「自ら学び自ら考える力」「問題を発見する力」「問題解決能力」など生きる力を身に付ける。 ※ 名称「ZEST」の語源は、英語で「熱意」「熱情」の意であり、「ZEST FOR LIVING」のうち冒頭の「ZEST」を採ったものである。	
	学習活動の時期	分野・テーマ
第1学期から第3学期まで各分野をローテーションして実施	地域	1 ガイダンス（体験学習の準備） 2 課題研究テーマ設定 3 今治造船所・日本食研・渦潮電機の施設訪問 4 課題研究 5 プレゼンテーション（ポスターセッション）、相互評価
	共生	1 ガイダンス（体験学習の準備） 2 課題研究テーマ設定 3 福祉施設訪問 4 課題研究 5 プレゼンテーション（ポスターセッション）、相互評価
第2学期	職業と学問Ⅰ	1 職業調べ 2 類型選択と科目選択 3 自己の能力を知る（汎用的能力の測定ツール利用、外部講師による解説会） 4 小論文練習（自己の将来像）
第3学期	まとめ	1 小論文作成、自己評価、相互評価 2 各種活動発表会（ポスターセッション） 3 一年間の振り返り
評価の方法	活動や学習の過程、報告書、発表などに見られる学習の状況や成果を基に、学習に対する意欲・態度・進歩の状況などを踏まえて、次の4観点から総合的に評価する。 (1) 知識の運用力 (2) 人間関係力 (3) 自己理解と社会認識 (4) 教科の知識の統合化	

○ 総合的な学習の時間の学習法

1 基本的な心構え

総合的な学習の時間は、いわゆる「知の総合化」を図る時間である。各教科等で身に付けた知識や技能を相互に関連付け、総合的に働くようにするという観点から設けられた時間である。自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育ててほしい。また、学び方やものの考え方を身に付け、問題の解決や探求的活動に主体的・創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えるようにしてもらいたい。

2 学習の方法

横断的・総合的な課題などについて、社会体験や見学などの体験的な学習、問題解決的な学習を行う。本年度は、次のような学習活動を行う。

- (1) 福祉施設での体験学習を通じて、思いやりや優しさなど豊かな心を養うとともに、共に生きる態度や主体性などを身に付ける。
- (2) 地場産業の実態を学ぶことを通して、今治を世界に向けて発信できるグローバル人材となる力を養う。
- (3) 先輩の体験談や外部講師の講演を通し、自己の在り方・生き方について考える。
- (4) 小論文の書き方の基礎を学ぶとともに、社会問題に関する背景知識を身に付ける。